

モツゴ養殖技術の開発研究 ―採卵時期を集中させる飼育方法―

福島県内水面水産試験場 生産技術部
内水面水産試験場研究報告書第6号

1 部門名

水産業一種苗研究(開発)―種苗生産、その他魚種(内水面)
分類コード 19-06-19650000

2 担当者

實松敦之

3 要旨

モツゴは多回産卵であるため一度に大量の卵を得ることが難しい。そこで、産卵期の親魚を環境中に産卵基質が無い条件下で飼育することで産卵時期の調整、特に産卵の集中が見られるかを検討した結果、以下の知見を得た。

- (1) 産卵基質を設置する前では産卵数が少なく、設置後に産卵数が増加することから、飼育環境中に産卵基質がない場合には産卵が抑制されると考えられた。
- (2) 産卵基質を設置して1週間以内に産卵することから、本種は産卵基質がない状態でも生理的には産卵できる状態を維持し、産卵基質があると産卵を開始すると考えられた。
- (3) 4週間産卵基質が無い条件下で飼育することで産卵量が増加する傾向が見られ、産卵基質の設置時期を調節することで短期間で大量に採卵できる可能性が示唆された。
- (4) 短期間で大量に産卵できることで、放養時期を集中させることが可能となる。また、採卵時期を調節できることで、生物餌料の発生状況などの池の状況に合わせて孵化仔魚を放養する事ができるようになり、安定的にモツゴを生産できると考えられた。

4 その他の資料等

なし